

Accordion for ASP.NET Web Forms

2018.04.24 更新

グレースィティ株式会社

目次

製品の概要	2
ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ	2
主な特長	3
クイックスタート	4
手順 1: アプリケーションの作成	4
手順 2: コントロールのカスタマイズ	4
手順 3: コントロールのコンテンツへの追加	4-6
手順 4: プロジェクトの実行	6
デザイン時のサポート	7
C1Accordion スマートタグ	7-8
C1Accordion の要素	9
ヘッダー領域	9
コンテンツ領域	9-10
タスク別ヘルプ	11
データソースへのアコーディオンの連結	11-12
C1AccordionPane へのコンテンツの追加	12-13
コンテンツペインの拡張方向の変更	13-14
アコーディオンへのアニメーションの適用	14-15
Hover 状態でのアコーディオンペインの拡張	15-16
複数のペインを同時に開く	16
カスタムテーマの追加	16-17

製品の概要

コンテンツの複数ペインを提供し、**Accordion for ASP.NET Web Forms** を使用して一度に1つずつ表示します。バウンドや伸縮などの多種多様なアニメーション効果を選択し、テーマを使って**C1Accordion** の外観をカスタマイズして、充実したインタラクティブなユーザーエクスペリエンスを提供できます。

ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ

ComponentOne for ASP.NET Web Forms の各コントロールで共通したトピック、アセンブリの追加、テーマの適用、クライアント側情報などについては「[ASP.NET Web Forms ユーザーガイド](#)」を参照してください。

主な特長

Accordion for ASP.NET Web Forms は、以下の独特な主要機能を備えています。

- **複数ペイン**
一度に1つのペインに情報を表示するために複数のペインとアコーディオンを追加します。
- **外部コンテンツ**
アコーディオンペインまたは表示領域には、プロジェクト内の別の Web ページのコンテンツだけでなく、他のプロジェクトの Web サイトのコンテンツも、外部コンテンツとして表示できます。
- **4つの拡張方向**
アコーディオンコントロールは、以下の4つの異なる方向に拡張できます。Top、Right、Bottom、または Left。
- **アニメーション**
アコーディオンには、組み込みのアニメーションオプションが用意されています。アニメーション効果のアコーディオンに遷移する方法をカスタマイズします。
- **キーボードのサポート**
キーボードによるアクセスのサポートを追加すると、キーの組み合わせを使用して **C1Accordion** コントロールをフォーカス状態にできます。これにより、エンドユーザーはキーボードの矢印キーを使用して C1AccordionPane 間を移動できます。
- **テーマ**
スマートタグをクリックするだけで、6種類のプレミアムテーマ (Arctic、Midnight、Aristo、Rocket、Cobalt、および Sterling) のいずれかを選択してアコーディオンの外観を変更します。オプションとして、jQuery UI から ThemeRoller を使用してカスタマイズしたテーマを作成します。
- **CSS のサポート**
CSS (Cascading Style Sheet) のスタイルを使用して、カスタムスキンを定義します。

クイックスタート

Accordion クイックスタートでは、ASP.NET コントロール **C1Accordion** の基本的な使用方法を説明します。このクイックスタートでは、1つの **C1Accordion** コントロールと4つの **C1AccordionPane** を含む ASP.NET アプリケーションを作成します。

手順 1: アプリケーションの作成

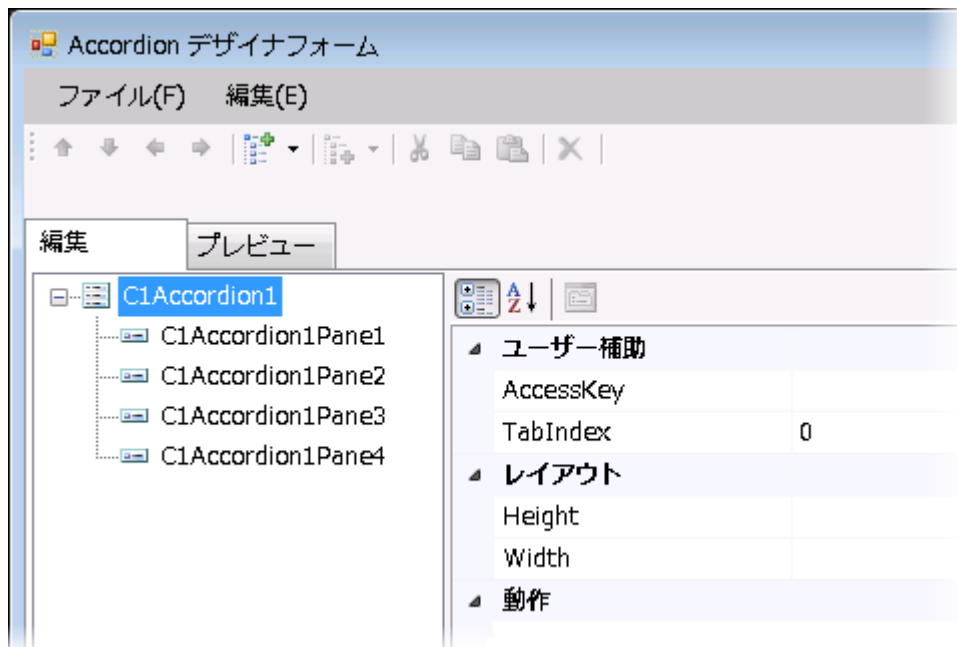
このトピックでは、最終的にアコーディオンコンテンツとなるコンテンツを含む **Panel** コントロールを追加します。

1. まず、ASP.NET Web アプリケーションを作成します。
2. コントロールをツールボックスに追加します。
3. 「デザイン」タブを選択します。
4. デザインビューで、Visual Studio ツールボックスに移動し、**C1Accordion** コントロールをダブルクリックしてページのメインコンテンツにアコーディオンを追加します。

手順 2: コントロールのカスタマイズ

このトピックでは、**C1AccordionPane** を **C1Accordion** コントロールに追加して、そのプロパティのいくつかを設定します。

1. **C1Accordion** スマートタグをクリックして、よく使用するプロパティやタスクを設定できる[**C1Accordion タスク**]メニューにアクセスします。
2. **ExpandDirection** プロパティを **Bottom** に設定します。
3. [テーマ]ドロップダウン矢印をクリックし、[**Cobalt**]を選択します。
4. [**ペインの編集**]をクリックして、新しい **C1AccordionPane** を **C1Accordion** に追加します。
5. [**子項目の追加**]ドロップダウンメニューから[ペイン]を選択します。これを3回繰り返します。



6. <OK>をクリックします。

手順 3: コントロールのコンテンツへの追加

このトピックでは、コンテンツを **C1AccordionPane** のコンテンツ領域に追加します。

1. フォーム上の「ソース」タブをクリックしてソースビューに切り替えます。

Accordion for ASP.NET Web Forms

2. タイトルとコンテンツを <C1Accordion:C1AccordionPane></C1Accordion:C1AccordionPane> タグ内の C1Accordion1Pane1 に追加します。たとえば、次のようになります。

ソースビュー

```
<Header>
手順 1
</Header>
<Content>
<h1>
手順 1</h1>
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Proin ac lacus ac nibh
viverra faucibus. Mauris non vestibulum dui
</Content>
```

3. タイトルとコンテンツを <C1Accordion:C1AccordionPane></C1Accordion:C1AccordionPane> タグ内の C1Accordion1Pane2 に追加します。たとえば、次のようになります。

ソースビュー

```
<Header>
手順 2
</Header>
<Content>
<h1>
手順 2</h1>
Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia
Curae; Vestibulum ante ipsum primis in faucibus.
</Content>
```

4. タイトルとコンテンツを <C1Accordion:C1AccordionPane></C1Accordion:C1AccordionPane> タグ内の C1Accordion1Pane3 に追加します。たとえば、次のようになります。

ソースビュー

```
<Header>
手順 3
</Header>
<Content>
<h1>
手順 3</h1>
Sed facilisis placerat commodo. Nam odio dolor, viverra eu blandit in, hendrerit
eu arcu. In hac habitasse platea dictumst.
</Content>
```

5. タイトルとコンテンツを <C1Accordion:C1AccordionPane></C1Accordion:C1AccordionPane> タグ内の C1Accordion1Pane4 に追加します。たとえば、次のようになります。

ソースビュー

```
<Header>
手順 4
</Header>
<Content>
<h1>
手順 4</h1>
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Proin ac lacus ac nibh
viverra faucibus. Mauris non vestibulum dui.
```

```
</Content>
```

手順 4: プロジェクトの実行

[F5]を押して、プロジェクトを実行します。次のような表示になります。

- 最初のペインは拡張して表示されます。
- 手順2のペインをクリックします。手順1のペインが閉じ、手順2のペインが拡張されます。

おめでとうございます！ **Accordion for ASP.NET Web Forms** クイックスタートが正常に完了しました。

デザイン時のサポート

C1Accordion は、カスタマイズされたコンテキストメニュー、スマートタグ、および充実したデザイン時サポートを提供するデザイナを備えており、オブジェクトモデルの操作が簡素化されています。

以下のセクションでは、C1Accordion のデザイン時環境を使用して**C1Accordion** コントロールを設定する方法について説明します。

C1Accordion スマートタグ

Visual Studio では、**C1Accordion** コントロールにスマートタグが用意されています。スマートタグは、**C1Accordion** で最もよく一般的に使用されるプロパティを提供するショートカットタスクメニューです。

C1Accordion コントロールでは、スマートタグによって、よく使用されるプロパティにすばやく簡単にアクセスできます。

[**C1Accordion** タスク]メニューにアクセスするには、**C1Accordion** コントロールの右上端にあるスマートタグ (🔗) をクリックします。[**C1Accordion** タスク]メニューが開きます。



[**C1Accordion** タスク]メニューは、以下のように操作します。

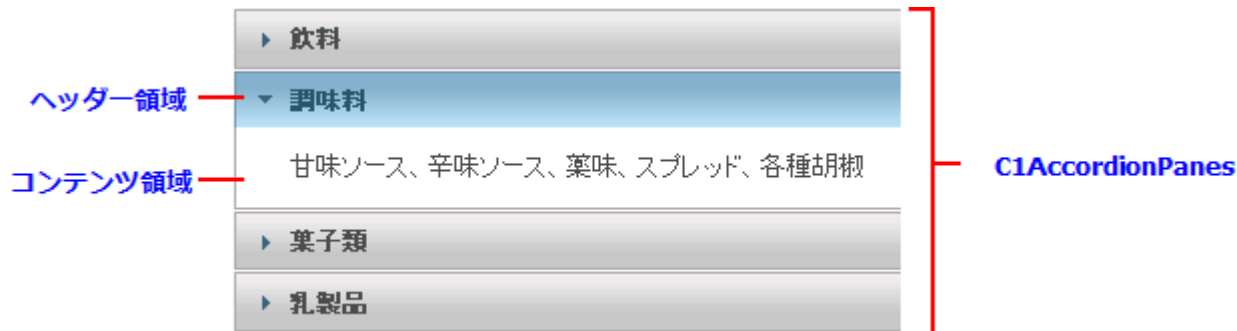
- **データソースの選択:**
[**データソースの選択**]項目をクリックすると、既存のデータソースや連結する新しいデータソースを選択できるドロップダウンリストが開きます。
- **拡張方向**
このプロパティは、**C1AccordionPane** がクリックされたときにアコーディオンを表示する場所を指定するように設定します。以下のオプションがあります。**Top**、**Right**、**Bottom**、および **Left**。
- **ペインの編集**
[**ペインの編集**]を選択すると、**Accordion** デザイナフォームが開き、ペインの追加、削除、および並べ替えができます。このフォームで、**C1Accordion** のプレビューや、各 **C1AccordionPane** の外観、動作などのさまざまなプロパティの設定もできます。
- **選択したペインの削除**
[**選択したペインの削除**]をクリックすると、**C1Accordion** コントロールで現在選択されている **C1AccordionPane** が

- 削除されます。
- **選択した項目**
このプロパティを設定して、**C1AccordionPane** が初期表示されるように指定します。
 - **テーマ**
[**テーマ**]ドロップダウンボックスでは、Theme プロパティを設定し、C1Accordion コントロールの外観を6種類の組み込みテーマの1つに変更できます。デフォルトでは、これは Aristo テーマに設定されます。
 - **新しいテーマの作成**
[**新しいテーマの作成**]オプションをクリックすると、**ThemeRoller for Visual Studio** が開きます。したがって、開発環境内でテーマをカスタマイズすることができます。アプリケーションで **ThemeRoller for Visual Studio** を使用する方法については、「[ThemeRoller for Visual Studio](#)」を参照してください。
 - **CDN の使用**
[**CDN の使用**]チェックボックスを選択すると、クライアントリソースが CDN からロードされます。これはデフォルトで OFF です。
 - **CDN パス**
CDN の URL パスを表示します。
 - **Bootstrap の使用**
[**Bootstrap の使用**]オプションを選択すると、コントロールに Bootstrap テーマを適用することができます。アプリケーションで Bootstrap テーマを使用する方法については、「[Bootstrap for ASP.NET Web Forms クイックスタート](#)」を参照してください。
 - **バージョン情報**
[**バージョン情報**]をクリックすると、製品のバージョン情報を確認できるダイアログボックスが表示されます。

C1Accordion の要素

このセクションでは、**C1Accordion**コントロールを構成する各要素の記述的な概要を提供します。

C1Accordionコントロールは、複数の **C1AccordionPane** で構成されます。各 **C1AccordionPane** は、コントロールの異なる側面を表す、ヘッダー領域とコンテンツ領域の2つの異なる要素で構成されます。



ヘッダー領域

C1AccordionPane のヘッダー領域は、コントロールの上部に表示され、「C1Accordion は空です。新規ペインを追加するには、ここをクリックしてください」と最初に表示されます。テキスト、HTML コンテンツ、画像、およびボタン／ラベルなどの任意のコントロールを含む、コンテンツを **C1Accordion** のヘッダー領域に追加できます。コントロールのヘッダー領域の各要素は、単純なドラッグ & ドロップ操作で追加および移動できます。

デザイン時にコンテンツを **C1AccordionPane** のヘッダー領域に追加できます。ヘッダー領域をクリックして、入力を開始するだけです。

コンテンツをヘッダーに追加してソースビューに切り替えると、ヘッダーが `<cc1:C1AccordionPane>` タグ内の `<Header>` タグ内に表示されることに注意してください。

ソースビュー

```
<cc1:C1AccordionPane ID="C1Accordion1Pane2" runat="server">
<Header>
手順 2
</Header>
</cc1:C1AccordionPane>
```

コンテンツ領域

C1AccordionPane の初期のコンテンツ領域は空です。カスタム HTML コンテンツからのリッチテキスト、**ContentUrl** プロパティからの URL リンク、およびボタンやラベルなどの任意のコントロールを追加できます。コントロールのコンテンツ領域の各要素は、単純なドラッグ & ドロップ操作で追加してそこで移動できます。

コンテンツをコンテンツ領域に追加して、ソースビューに切り替えると、コンテンツが `<cc1:C1AccordionPane>` タグ内の `<Content>` タグ内に表示されることに注意してください。

ソースビュー

```
<cc1:C1AccordionPane ID="C1Accordion1Pane2" runat="server">
<Header>
手順 2
</Header>
<Content>
```

```
Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia  
Curae; Vestibulum ante ipsum primis in faucibus.  
</Content>  
</cc1:C1AccordionPane>
```

タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプは、Visual Studio のプログラミングに精通しているユーザーを対象としています。ヘルプに記述された手順に従うことによって、**Accordion for ASP.NET Web Forms** のさまざまな機能を実証するプロジェクトを作成して、**Accordion for ASP.NET Web Forms** の用途を理解することができます。

大部分のタスク別ヘルプピックでは、プロジェクトにヘッダーとコンテンツペイン用のコンテンツを持つアコーディオンコントロールが用意されていることを前提としています。

データソースへのアコーディオンの連結

C1Accordion コントロールをデータソースに簡単に連結できます。ヘッダーとコンテンツのデータフィールドは **C1Accordion** コントロールによって自動的に決定され、アコーディオンのヘッダー領域とコンテンツ領域での表示方法を指定するために使用されます。希望する場合は、**HeaderField** と **ContentField** プロパティを使用してヘッダー／コンテンツのテキストを特定のフィールドに連結できます。

この例では、製品と共に C:\Users\<ユーザー名>\Documents\ComponentOne Samples\Common に自動的にインストールされる **NWind.mdb** を使用します。自分のプロジェクトの **App_Data** フォルダに **NWind.mdb** をコピーします。ソリューションエクスプローラで、**NWind.mdb** を右クリックし、**[プロジェクトに取り込む]** を選択します (必要な場合)。

1. ASP.NET プロジェクトを作成します。
2. **C1Accordion** コントロールをページに追加します。
3. **C1Accordion** コントロールのスマートタグをクリックし、**[データソースの選択]** の横のドロップダウン矢印をクリックして、**[新しいデータソース]** を選択します。
4. データソース構成ウィザードで **[Access データベース]** を選択して、**<OK>** をクリックします。
5. プロジェクトの **App_Data** フォルダで **NWind.mdb** を選択し、**<OK>** をクリックして、**<次へ>** をクリックします。
6. 「**列**」の下で Select ステートメントの構成ウィンドウで、**CategoryName** と **Description** を選択すると、SELECT ステートメントは次のようになります。

ソースビュー

```
SELECT [CategoryName], [Description] FROM [Categories]
```

CategoryName はアコーディオンのヘッダーに表示され、**Description** はアコーディオンのコンテンツ領域に表示されます。最初に **Description** を選択し、次に **CategoryName** を選択した場合、**Description** はヘッダーに表示され、**CategoryName** はアコーディオンのコンテンツ領域に表示されます。

または、**Select ステートメントの構成** ウィンドウで、***** を選択し、SELECT ステートメントを **SELECT * FROM [Categories]** のようにして、その後 **ContentField** と **HeaderField** プロパティで希望するフィールドを指定することができます。

7. **<次へ>** をクリックして、**<完了>** をクリックします。
8. **[F5]** を押してアコーディオンを実行し、アコーディオンがデータベースに連結されることを確認します。ヘッダーをクリックして、コンテンツ領域を開きます。



または、ヘッダーとコンテンツ領域を特定のフィールドに連結する場合は、**HeaderField** と **ContentField** プロパティを使用することもできます。

C1AccordionPane へのコンテンツの追加

Accordion デザイナフォームを使用して **C1AccordionPane** をアコーディオンに追加し、次にコンテンツをソースマークアップに追加できます。

1. **C1Accordion** スマートタグをクリックし、[**C1Accordion タスク**]メニューで[**ペインの編集**]をクリックして、新しい **C1AccordionPane** を**C1Accordion**に追加します。または、[**C1Accordion Tasks**]メニューで[**新規ペインの追加**]をクリックしてペインを追加できます。
2. <子項目の追加>ボタンを3回クリックして3つのペインを追加し、<OK>をクリックして **Accordion デザイナフォーム**を閉じます。
3. フォーム上の「ソース」タブをクリックしてソースビューに切り替えます。
4. タイトルとコンテンツを <C1Accordion:C1AccordionPane></C1Accordion:C1AccordionPane> タグ内の **C1Accordion1Pane1** に追加します。たとえば、次のようになります。

ソースビュー

```
<Header>
ヘッダ 1
</Header>
<Content>
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
</Content>
```

5. タイトルとコンテンツを <C1Accordion:C1AccordionPane></C1Accordion:C1AccordionPane> タグ内の **C1Accordion1Pane2** に追加します。たとえば、次のようになります。

ソースビュー

```
<Header>
ヘッダ 2
</Header>
<Content>
Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia
Curae; Vestibulum ante ipsum primis in faucibus.
</Content>
```

6. タイトルとコンテンツを <C1Accordion:C1AccordionPane></C1Accordion:C1AccordionPane> タグ内の

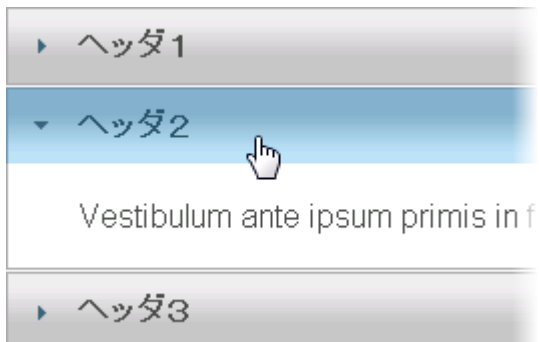
Accordion for ASP.NET Web Forms

C1Accordion1Pane3 に追加します。たとえば、次のようになります。

ソースビュー

```
<Header>
ヘッダ 3
</Header>
<Content>
Sed facilisis placerat commodo. Nam odio dolor, viverra eu blandit in, hendrerit
eu arcu.
</Content>
```

7. [F5]を押してアコーディオンを実行し、ヘッダーをクリックしてコンテンツペインを開きます。



コンテンツペインの拡張方向の変更

C1Accordion コントロールでは、ユーザーは上、下、左、または右からペインのコンテンツを拡張できます。この機能を利用するには、単に**ExpandDirection**プロパティを設定します。

デザイン時の場合

1. **C1Accordion** スマートタグをクリックして、[**C1Accordion タスク**]メニューを開きます。
2. **ExpandDirection**プロパティの横のドロップダウン矢印をクリックして、オプションの1つ(**Top** など)を選択します。

コードの場合

次のコードを **Page_Load** イベントに追加し、たとえば **ExpandDirection** プロパティを設定します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
C1Accordion1.ExpandDirection = ExpandDirection.Top
```

C# コードの書き方

C#

```
C1Accordion1.ExpandDirection = ExpandDirection.Top;
```

マークアップの場合

ExpandDirection プロパティのマークアップを**C1Accordion**マークアップに直接追加できます。デザイン時にページ内にプロパティを設定すると、そのプロパティがマークアップに自動的に追加されます。このマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Accordion ID="C1Accordion1" runat="server" ExpandDirection="Top">
```

アプリケーションを実行し、アコーディオンのヘッダーをクリックすると、コンテンツがヘッダーの上部に拡張されます。



アコーディオンへのアニメーションの適用

C1Accordionコントロールはアニメーションをサポートします。この機能を利用するには、単に **AnimatedEffect** プロパティを設定します。

可能な効果には次のものが含まれます。

easeOutElastic	easeInOutQuad	easeInQuint
easeInElastic	easeOutSine	easeInOutQuint
easeInOutElastic	easeInSine	easeOutBack
easeOutBounce	easeInOutSine	easeInBack
easeInBounce	easeOutCirc	easeInOutBack
easeInOutBounce	easeInCirc	easeOutQuart
easeOutExpo	easeInOutCirc	easeInQuart
easeInExpo	easeOutCubic	easeInOutQuart
easeInOutExpo	easeInCubic	easeLinear
easeOutQuad	easeInOutCubic	-
easeInQuad	easeOutQuint	-

デザイン時の場合

1. [表示]メニューの[プロパティ ウィンドウ]を選択します。
2. **Animated** プロパティを展開し、**Effect** プロパティの横の上記の表にある効果の1つ(**easeInOutBounce** など)を入力します。

コードの場合

次のコードを **Page_Load** イベントに追加し、たとえば **Animated** プロパティを設定します。

Accordion for ASP.NET Web Forms

Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
C1Accordion1.Animated.Effect = "easeInOutBounce"
```

C#コードの書き方

C#

```
C1Accordion1.Animated.Effect = "easeInOutBounce";
```

マークアップの場合

Animated プロパティのマークアップを**C1Accordion** マークアップに直接追加できます。デザイン時にページ内にプロパティを設定すると、そのプロパティがマークアップに自動的に追加されます。このマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Accordion ID="C1Accordion1" runat="server">  
  <Animated Effect="easeInOutBounce" />  
</cc1:C1Accordion>
```

アプリケーションを実行し、アコーディオンのヘッダーをクリックすると、コンテンツペインが拡張される効果を確認できます。

Hover 状態でのアコーディオンペインの拡張

C1Accordionコントロールでは、ヘッダーをクリックしたときにコンテンツ領域が拡張するイベントを変更できます。この機能を利用するには、単に **Event** プロパティを設定します。

可能なイベントには、*click*, *mouseover*, *dblclick*, *mousemove*, *mousedown*, *mouseup*, および *mouseout*が含まれます。

デザイン時の場合

1. [表示]メニューの[プロパティ ウィンドウ]を選択します。
2. この場合は、ヘッダー上にマウスポインタを置いたときにコンテンツペインを拡張したいので、**Event** の横にイベント名 *mouseover* を入力します。

コードの場合

次のコードを **Page_Load** イベントに追加し、たとえば **Event** プロパティを設定します。

Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
C1Accordion1.Event = "mouseover"
```

C#コードの書き方

C#

```
C1Accordion1.Event = "mouseover";
```

マークアップの場合

Eventプロパティのマークアップを **C1Accordion** マークアップに直接追加できます。デザイン時にページ内にプロパティを設定すると、そのプロパティがマークアップに自動的に追加されます。このマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<c1:C1Accordion ID="C1Accordion1" runat="server"
DataSourceID="AccessDataSource1" Event="mouseover">
</c1:C1Accordion>
```

アプリケーションを実行し、アコーディオンのヘッダー上にマウスポインタを置くと、コンテンツペインが拡張されます。

複数のペインを同時に開く

C1Accordion コントロールでは、複数のペインを同時に開くことができます。

RequireOpenedPane プロパティを **True** に設定すると、ヘッダーをクリックしたときに現在開かれているペインが閉じ、残りのペインは閉じたままになります。**RequireOpenedPane** プロパティを **False** に設定すると、ヘッダーをクリックしたときに現在開かれているペインは閉じません。

デザイン時の場合

1. [表示]メニューの[プロパティ ウィンドウ]を選択します。
2. **RequireOpenedPane** プロパティの横にあるドロップダウン矢印をクリックし、**False** を選択します。

コードの場合

次のコードを **Page_Load** イベントに追加し、たとえば**Event** プロパティを設定します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
C1Accordion1.RequireOpenedPane = False
```

C# コードの書き方

C#

```
C1Accordion1.RequireOpenedPane = false;
```

マークアップの場合

Event プロパティのマークアップを**C1Accordion** マークアップに直接追加できます。デザイン時にページ内にプロパティを設定すると、そのプロパティがマークアップに自動的に追加されます。このマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<c1:C1Accordion ID="C1Accordion1" runat="server"
DataSourceID="AccessDataSource1" Event="" RequireOpenedPane="False">
```

アプリケーションを実行し、アコーディオンのヘッダー上にマウスポインタを置くと、コンテンツペインが拡張されます。

カスタムテーマの追加

Accordion for ASP.NET Web Forms には6種類の組み込みテーマが用意されていますが、異なるテーマを使用したい場合は、CDN URL を使用して既存のテーマを選択するか、**jQuery ThemeRoller Web** アプリケーションを使用して独自のケース

Accordion for ASP.NET Web Forms

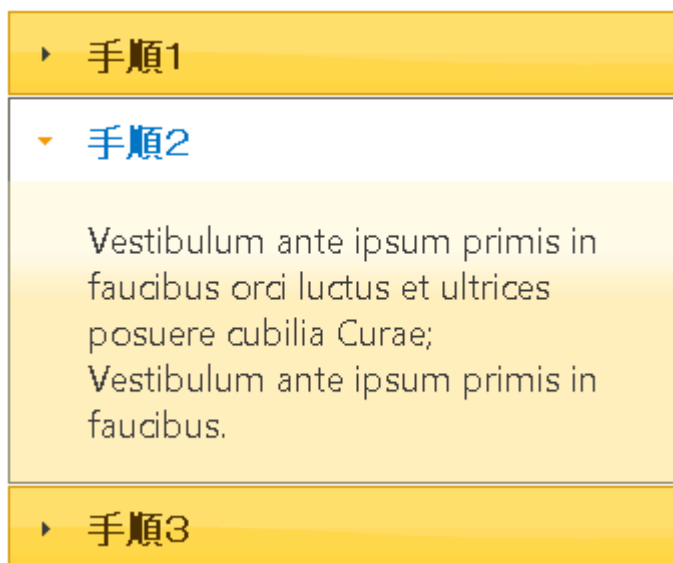
タムテーマを作成することができます。

CDN URL の使用

1. **C1Accordion** スマートタグをクリックして、[**C1Accordion** タスク]メニューを開きます。
2. [**CDN の使用**]を選択します。
3. **Theme** プロパティに CDN URL を入力してテーマを指定します。CDN URL は <http://blog.jqueryui.com/2011/06/jquery-ui-1-8-14/> で確認できます。この例では、次の Sunny テーマを使用します。 <http://ajax.aspnetcdn.com/ajax/jquery.ui/1.8.14/themes/sunny/jquery-ui.css>。

このテーマ設定は Web.config ファイルの **<appSettings>** に格納されています。ソリューションエクスプローラで、Web.config ファイルをダブルクリックします。**<appSettings>** タグに **WijmoTheme** キーと値が含まれていることに注意してください。これは、追加した CDN URL が指定されている場所です。

4. プロジェクトを実行し、テーマが **C1Accordion** に適用されていることを確認してください。



jQuery ThemeRoller の使用

1. <http://jqueryui.com/themeroller/>に移動します。
2. 「**Roll Your Own**」タブで、設定を変更してカスタムテーマを作成します。フォント、色、背景、枠線などをカスタマイズできます。または、「**Gallery**」タブをクリックして既存のテーマを選択します。
3. **<Download>** ボタンをクリックし、**Build Your Download** ページでもう一度**<Download>**をクリックします。
4. テーマの .zip ファイルを Visual Studio プロジェクトフォルダ内のフォルダに保存し、解凍します。この例では、**Themes** フォルダを作成しました。
5. ソリューションエクスプローラで、プロジェクト名を選択して**<更新>**ボタンをクリックすると、プロジェクト内に **Themes** フォルダが表示されます。
6. **C1Accordion** スマートタグをクリックして、[タスク]メニューを開きます。
7. [**CDN の使用**]を選択します。
8. **C1Accordion** コントロールを右クリックして、プロパティウィンドウの **Theme** プロパティに移動し、カスタムテーマ .css へのパス(たとえば、**Themes/css/custom-theme/jquery-ui-1.8.22.custom.css**)を入力します。
このテーマ設定は Web.config ファイルの **<appSettings>** に格納されています。ソリューションエクスプローラで、Web.config ファイルをダブルクリックします。**<appSettings>** タグに **WijmoTheme** キーと値が含まれていることに注意してください。これは、追加したカスタムテーマが指定されている場所です。
9. プロジェクトを実行し、テーマが **C1Accordion** に適用されていることを確認してください。